



赤井むつみ後援会便り第70号

笑顔あふれる温かい町に！

2025年12月 発行



ありがとうございました！

10月の選挙では温かい応援をいただきまして、本当にありがとうございました。無謀にも後援会長で組織も重なる水野博美さんと一緒に立候補し、「何考えているんだ！二人とも落ちたらどうするんだ！」とお叱りを受けましたが、皆さまの力強い応援のおかげで、二人揃って当選することができました。心から感謝を申し上げますと共に、「投票してよかったです！」と感じていただけるよう全力で議会活動に取り組みます。これからも厳しいチェックをよろしくお願い致します！

一般質問



問1 『登下校の安全を守ろう！』

悪天候の朝の役場前駐車場は、送迎の車で混み合い、登校中の子ども達がいつ事故に遭ってもおかしくない危険な状況です。子ども達の命を守るための工夫、ルールの徹底が必要では？

教育長

送迎のルールについては、ハ雲小学校のホームページに常時掲載し、年度初めや送迎が増える本格的な冬シーズン前などに、学校便り等で周知徹底を行っているが、ルールを守っていただけないケースもあり、対応に苦慮している。今後も駐車可能範囲や車の侵入経路をわかりやすく表示して周知を行い、保護者の理解促進をさらに図っていく。今後も関係機関や地域と連携を強化しながら、安全最優先の取り組みを行う。

問2 『より良い子育て支援策をみんなで考えよう！』

ハ雲町で子どもを産み育てたいと思ってもらえるように、町民みんなで必要な対策を考え、子育て世代の声を十分反映した持続可能な施策作りが必要だと思います。また、ハ雲町では子育て施策が進んでいる一方、若い女性の人口が少なく、支援が十分に活かしきれない現状にあります。女性がここで働きたいと思えるような環境、ハ雲に行きたいと思える環境を作っていくなければ、子育て支援がどんなに充実しても活かされません。出会いの機会作り等にも力を入れていく必要性があるのではないでしょうか。

町長

医療費・給食費無償化の継続を示しつつ、出産祝い金や子ども・子育て会議の運営を工夫し、意見を出しやすい場にしていく。さらに、役場内の子育て中職員を中心とした横断的な検討体制や、若い女性がハ雲町に残り、戻って来なくなる環境作り、出会いの場の創出にも積極的に取り組んで行く。こうした機会を作る仕組みは行政だけでなく、色々な団体も巻き込んでやれれば良いと思っているので、積極的に取り組みたいと考えている。

<委員会活動>

今回は、総務委員会と文厚委員会、広報委員会、議会運営委員会と全ての委員会に入れてもらいました。総務委員会の注目点は、庁舎の建設とふるさと納税の今後です。庁舎は予算内で落札できるのか、出来なかった場合はどのような対応をするのかが大きな課題です。

八雲町の予算はふるさと納税を含めたものが多く、ふるさと納税が大きく減額した場合、立ち行かなくなってしまう可能性もあります。イクラに代わるもの開発は急務となっています。

文厚委員会：2026年から管理栄養士不足で、総合病院の入院患者さんの給食が外部委託になります。調理は今まで通り病院の調理室で行なうため、調理員はそのまま残ることができ、生鮮食料品は町内で購入できることとなりました。委託業者は東京の富士産業株式会社です。

広報委員会：12月7日の全町1日健康集いで、議会カフェをさせていただき、1月11日に行なわれる「二十歳の集い」でも、議会カフェを行う予定です。その内容は、議会広報2月号に掲載しますので、是非ご覧ください！

議会運営委員会：委員長に就任したので早速「議会基本条例」の見直しに取り組んでいます。「開かれた議会」「わかりやすい議会」そして、町民皆さまの役に立つ議会を目指し、皆さまの声を聴きながら、全力で取り組みます。是非、多くの声をお寄せ下さい！

皆さまにとって今年はどんな年でしたでしょうか。世界中で異常気象による、大規模災害が多かったですね。亡くなられた方々にはご冥福をお祈りしますと共に避難生活を強いられている皆さまには、1日も早く日常の生活を取り戻す事ができますよう心からお祈り申し上げます。また、物価高騰はまだまだ続き、先々への不安が募っているという声を多く聞きます。お米券や商品券も助かりますが、一時的な対策ではなく、抜本的に取り組んでほしいですよね！

来年は丙午（ひのえうま）。勢いよく燃え上がる「火の気」を持ち、物事が大きく動き出す年と言われています。

停滞していたものが一気に前へ進み、新しい活力が生まれる年でもあるそうです。そこに期待して、来年こそ、平和・安心・安全・笑顔が世界中に広がる1年となるといいですね。

みんなで健康に十分気を付けて、充実した年にしていきましょう！来年もよろしくお願ひします。



多くの議員が応援した萬谷町長が誕生し、初めての議会も8人の一般質問が行なわれ、ほとんどが新町長の公約についての質問が多かったのです。これからも賛成するところは賛成し、反対するところは理由をはっきりと示しながら反対して行きます。そして、町民皆さまの声をじっくり聞き、『協働のまちづくり』につなげていきます。

これらの4年間は、財政的にも厳しくなり、人手不足もますます広がり、「今までのようにな」という事が出来なくなっています。これからは自助・共助・公助それぞれを明確にし、情報共有をしっかりと行ないながら、よりよい八雲町を目指して行きましょう！災害においては、**自分の命は自分で守る**が基本です。みんなで持ち出し袋の準備を万全にしましょう！

赤井むつみ後援会連絡先 八雲町住初町126 FAX=62-3632

電話=080-5588-2090(赤井) (赤井むつみでブログの検索を！)

赤井自宅 栄町56-12(栄町3区) 番 63-2090